

編 集 後 記

2023年7月吉日

編集委員長 竹下盛重

2023年5月、Covid-19感染が感染症法の2類より5類に移行し、医療状況は大きく様変わりしました。待ちに待った解禁日みたいな感覚ですが、やはり国民は慎重であり、病院、介護施設は厳しい体制を敷いています。これも慎重派、横並派が多い日本ならではの対応と思いますが、それでも自由度がかなり上がり、うれしい限りです。本年の連合会総会で懇親会があるか不明ですが、おいおい懇親会等が催されることと思います。やはり、対面での総会や懇親会での話し合いはより深い理解や関係性が出来上がるものと思います。さて、お知らせが十分ではなかったかと思いますが、本年度から、教育委員会が投稿いただいた論文の中から優秀論文賞の選定を行うことが決定しました。選ばれた方々には大きな励みになると思われます。今後、より良い論文（原著、症例報告）が集まり、本学会、また本学会誌がよりレベルが高い状態につながることを確信しております。今でも可能ですが、近い将来には、他細胞診雑誌と同様に自由に投稿ができるような学会誌につながればよいかと考えております。本年も本学会誌には、多数の論文（総説2編、原著6編、症例報告10編、短報4編）を投稿いただきました。皆様のご協力の賜物であるとともに、本報告が多くの医療関係者にとってより身近な形で目に触れ、日々の糧、知識の積み重ねにつながれば幸いです。これからも、読者に耐える質の高い報告の手助けを目指します。また、もう少し早めの刊行が出来るように努めてまいります。

日本臨床細胞学会九州連合会雑誌編集委員会

編集委員長：竹下 盛重

編集副委員長：西山 憲一

編集事務局長：緒方 昌倫

編集担当役員：大石 善丈、大久保文彦、佐藤 真介、田宮 貞史、土岐 尚之

編集委員：碓 益代、今村 彰吾、宇野 大輔、大谷 博、角谷 優子、小材 和浩、関本 哉恵、寺戸 信芳、南部 雅美、西山 尚子、野中 修一、山口 知彦、横山 俊朗、渡辺寿美子

査読委員：相島 慎一、安部 秀幸、有馬 信之、石原 明、稲田 千文、井上佳奈子、卜部 省悟、大久保文彦、大城真理子、大塚 幸二、小田 義直、加来 恒壽、角谷 優子、柏村 正道、片渕 直、神尾多喜浩、川越 俊典、河原 明彦、木戸 伸一、切田ゆかり、金城 満、金城 貴夫、黒濱 大和、小材 和浩、坂井 真一、佐藤 真介、塩田 拓也、島松 一秀、自見 厚郎、瑞慶覧陽子、駄阿 勉、竹下 盛重、立山 敏広、田中 小夜、田中 義成、田宮 貞史、寺戸 信芳、土岐 尚之、中島 秀樹、南部 雅美、西田 陽登、野元 三治、花牟禮富美雄、濱田 哲夫、林 洋子、林 透、東 美智代、比嘉 譲、本田 由美、前田ゆかり、松田 勝也、松本 慎二、丸田 淳子、横山 俊朗

(50音順)